

2014年 ネパール学校支援

訪問期間：2014.1.25～2014.2.3

訪問者：清水繁会員、稲田栄一会員、大森龍一会員、石井秀明会員、稲田夫人、鈴木さん（石井会員友人）、所さん親子（清水さん友人）

今年は、全生徒にと200人分のプレゼントを準備して持って行きました。プレゼントは、会員のご支援もあり、歯ブラシ、チューブ歯磨き、鉛筆を準備することが出来、大変喜ばれました。

午後から我々は、それぞれ手分けして、何クラスかの教室に分かれ、風船遊び、ブンブンゴマ作りやペラペラ漫画、紙飛行機づくりを子供達と一緒にやりました。風船遊びでは、小さなポンプが1個しかなかったので、ふくらませるのが大変だったようです。紙飛行機づくりは、今回滞空時間競技に使われる滞空型の折り方を教え、折った後に、外に出てみんなで飛ばしあいを行いました。

折るので苦勞したのは、戸田ロックという先端の胴体が開かないよう、また強度を増す折り方にみんな苦勞していました。ともあれ楽しい触れ合いが出来たアツという間の1時間でした。

夜は、元校長宅で日本式の弁当を30食作って、先生方やお世話になった人を招待して皆さんに食べて頂きました。

二日目の早朝は、婦人学級で食器などを洗うアクリルタワシの編み物教室を開催しました。お母さん達の中には慣れた人もいれば、初めての人も居て孤軍奮闘していました。学校が始まる時間にもなるので終わりにして、その間に男性軍が準備していた、大森会員がついて持参した「もち」を焼いてお母さん達に食べてもらいました。・・・デレイ ミト チャ！

そして、10時過ぎから長～い長い歓迎式典が始まり、その中で清水団長より訪問の挨拶、支援品の贈呈を行いました。今回の支援品は、学校の希望でもあった校長用の机と椅子、それにスチール製の書棚をカトマンドゥで購入し、支援金の残りは現金でそれぞれルビ・ラマ校長へ贈呈をしました。その後、生徒の歌に合わせて民族衣装を着た生徒がタマン族の民族ダンスで我々に披露して切れました。



校長の机と椅子、書棚及び現金4万円を支援





子供達に歯ブラシなどを一人一人にプレゼント！

ふれあい教室



MotherClass 編み物教室



アンナプルナ山群とマチャプチャレ (右)
Pokhara (ポカラ) サランコットの丘から見るヒマラヤの展望